

(3) 平成18年度取組みの評価

平成18年度は、高砂市次世代育成支援行動計画の2年目として昨年度の実績を踏まえて、着実に展開することが出来ました。

目標1 子育て家庭への支援

児童手当法の改正により、所得制限の緩和と支給対象年齢が小学校6年生までに上げられ、

児童手当の拡充を行いました。

また、社会問題となったいじめに対応する啓発パンフレットを作成し、各保育園、幼稚園の園児、小・中学校の児童、生徒に配布しました。

目標2 子育て支援のコミュニティ整備

子育て支援センターを旧高砂保育園跡地に改修移転し、子育て支援の拠点としての整備を行うとともに、ファミリーサポートセンターの開設準備をおこないました。

地域子育てネットワークなど各団体の協力により、地域での見守りに取り組まれました。

市内一校区で「ほめて育てる地域実行委員会」を作り、学校、家庭地域でのこども達の日頃の姿から、「奉仕活動賞」「親切賞」「明朗賞」などの表彰を行い、地域ぐるみで、子どもの健全育成に取り組みました。

目標3 就労と子育ての両立支援

休日保育などに対応するために、みどり丘保育園の民間移管の移管先法人の選考を行いました。

保育所の施設の環境整備で、下水道接続工事とアスベスト対策工事をおこないました。

目標4 健全育成に向けた教育の充実

全幼稚園で豊かな人間関係の育成を図ることを目的に、2年保育を実施しました。

また、教育施設の環境整備を図るため、阿弥陀・北浜・伊保南小学校のアスベスト対策工事を行いました。

目標5 地域での生活環境の整備

荒井町臨海部に親水機能を有した「あらい浜風公園」がオープンしました。牛谷東公園の整備を行いました。

また、保育園、幼稚園、小学校に不審者対策用品を配布したり、不審者の侵入を想定した実技研修会も行いました。

目標6 安心して生み育てることができる環境の整備

児童学園で、療育相談「マミーサポート」事業を行い発達障害の相談支援を始めました。

また、妊婦の健診費用の一部の助成も始めました。

児童手当の拡充や妊婦の健診助成、地域子育てネットワーク等各団体のボランティアによる地域の見守り活動が定着してきたこと、社会問題となっただアスベスト問題に急遽取り組むなど、子育て負担の軽減や児童の健全育成に向けての取組みが図られました。

また、行動計画に定めている特定事業の数値目標の達成に向け、休日保育やファミリーサポートセンターなど、来年の実施に向けての準備を行い、開設の目途をつけることができました。なお、病後児保育事業、子育て家庭短期入所事業など利用者が少ない事業については、利用者への啓発に努める必要があります。